



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

～次世代の医療のために～

研究成果報告書



皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（血液・髄液等）と臨床情報を利用した研究で以下のような成果が見られましたのでご報告させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

アルツハイマー病、レビー小体型認知症、軽度認知障害、パーキンソン病、大うつ病と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

タンパク質マイクロアレイ、フォーカスアレイを用いた各種疾患患者の抗体プロファイリング

【研究責任者】

渡辺 慎哉（福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター）

【本研究の成果】

早期診断や有効な治療法の開発が求められている疾患について、疾患患者様の血液中の抗体と疾患との関わりを明らかにすることを目的として研究を進めました。

ご提供いただいた血漿、血清より多数の抗体（自己抗体や外来抗原に対する抗体）を解析し、データベースを作成しました。今後、これらの抗体と疾患との関わりを精査し、診断薬や治療薬開発への貢献を目指します。

【本研究に提供している試料・情報】

血液（血漿）、血液（血清）

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報、心理検査の結果

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2026年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

福島県立医科大学医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター 研究責任者 渡辺慎哉

（株）チューニングフォーク・バイオ・ジャパン 研究責任者 引地裕一

（問い合わせ窓口）

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオバンク部

電話番号 042-346-3520

E-mail : biobank※ncnp.go.jp（※を@に変更してください）